

第3回 まちなみ写真コンテスト

City photography Contest

福岡市まちなみ写真
選考委員 佐藤 優 九州大学教授〈委員長〉
藤本 健八 写真家(フォト・ワークス代表)
井上 一 写真家(ブルックススタジオ代表)
池田 美奈子 九州大学准教授

一般部門 入選作品



鉄路に沿う博多

丸田 洋二

福岡市東区

〈撮影場所〉博多駅ビル屋上北側

〈撮影時期〉平成22年12月



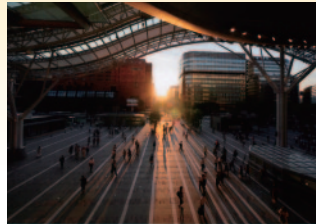
いつもの道を

山本 和弘

春日市

〈撮影場所〉博多区御供所町

〈撮影時期〉平成23年7月



帰り道

上玉利 健一

福岡市早良区

〈撮影場所〉博多駅

〈撮影時期〉平成23年9月



空と海の間の光景

松本 洋子

福岡市早良区

〈撮影場所〉能古島行きフェリー上

〈撮影時期〉平成23年9月



JR博多シティ

小橋 正典

福岡市早良区

〈撮影場所〉博多駅前

〈撮影時期〉平成23年10月



福岡の夜明け

花岡 大和

福岡市西区

〈撮影場所〉福岡市西区愛宕山そば

〈撮影時期〉平成23年6月



観梅は今がチャンスよ

吉村 彪

福岡市東区

〈撮影場所〉福岡市中央区舞鶴公園

〈撮影時期〉平成23年2月



都会のオアシス

甲斐 満男

福岡市南区

〈撮影場所〉福岡市東区照葉(アイランドシティ)

〈撮影時期〉平成23年8月



冬の使者

南 順子

福岡市西区

〈撮影場所〉福岡市内

〈撮影時期〉平成23年4月



夕映えの丘

足立 勝昭

福岡市東区

〈撮影場所〉東区奈多の海べ

〈撮影時期〉平成23年9月



残しておきたい博多の夜

藤島 正稔

福岡市西区

〈撮影場所〉博多・那珂川河畔

〈撮影時期〉平成23年8月



私の福岡

西嶋 文志

福岡市西区

〈撮影場所〉愛宕浜

〈撮影時期〉平成23年9月



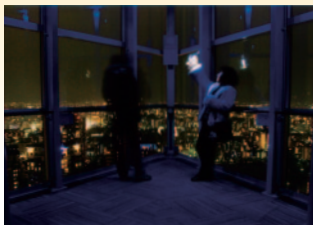
国際都市「福岡」

樋口 勝彦

福岡市早良区

〈撮影場所〉福岡市東区香椎浜3 香椎パークポート

〈撮影時期〉平成23年9月



シルエットロマンス

田上 さざ江

熊本県玉名市

〈撮影場所〉福岡タワー

〈撮影時期〉平成22年11月



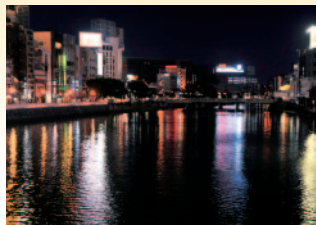
幻想的な目覚め

西久保 民久

福岡市西区

〈撮影場所〉西区愛宕浜波堤

〈撮影時期〉平成23年7月



街の明り

久保田 良美

太宰府市

〈撮影場所〉中洲

〈撮影時期〉平成23年8月

一般部門 優秀作品



造船所の見える場所

〈撮影場所〉福岡都市高速道路1号線 荒津大橋

下り車線バスの車窓から

オヤマダ キミコ

小山田 公子 福岡市西区

〈撮影時期〉平成23年9月

〈撮影者コメント〉

福岡都市高速1号線の荒津大橋、下り車線のバスの車窓からの眺望です。初めて目にした時の「すごいな」という感動は、今も鮮明に覚えています。活力ある福岡の大きな産業ともいえる造船所が都心部に存在するのも驚きでした。「観光ツアー気分、一度この路線バスに乗りしてみませんか。」と幾人に語りかけたでしょうか。いくら眺めても飽きぬ景色です。

〈講評: 藤本 健八〉

九州最大の都市福岡市を海側のこの高みから見る事が出来る唯一のポイントだ。作者はパノラマ状の広がりから造船場を主題に選び、手前に白いクルーザー群、画面上に背振山頂を入れて奥行を出した。採光も良い。



天までとどけ

〈撮影場所〉空港付近 〈撮影時期〉平成23年2月

タノウエ サザエ

田上 さざ江 熊本県玉名市

〈撮影者コメント〉

頭上間近で見る飛行は迫力満点で、特に菜の花の咲く頃は最高です。

〈講評: 井上 一〉

真っ青な空、一面黄色の菜の花畑、航空機の白、尾翼とダウンジャケットの赤、絶妙のカラーバランスが素晴らしい。それに加えて、画面右下に配した父子、ここしかないと思われる決定的な飛行機の位置、構図も満点の作品です。



リゾート

〈撮影場所〉百道浜 〈撮影時期〉平成23年8月

カミタマリ ケンイチ

上玉利 健一 福岡市早良区

〈撮影者コメント〉

未明の百道浜です。ライトアップがなくても幻想的な眺めです。大げさかもしれませんが、世界に誇れるリゾートエリアだと感じます。

〈講評: 池田 美奈子〉

中央の防波堤が独特の奥行きをつくり出す。消失点に向かって視線を走らせると、柔らかな暁の空と、鮮明な都市景観が、鏡のような海面にそれ ぞれのトーンで華やかな光を落としている。計算された抽象美が印象的だ。



山笠のある街

〈撮影場所〉櫛田神社付近 〈撮影時期〉平成23年7月

オカダ テルアキ

岡田 照秋 福岡市西区

〈撮影者コメント〉

博多の街には山笠がよく似合います。追い山の勇壮な様子を撮ってみました。

〈講評: 佐藤 優〉

おなじみの山笠のひとつコマ。少しだけちがうのは、未明に駆け抜ける緊迫の一瞬ではなく、明るい追山を地面すれすれから捉えたこと。迫力のある飛沫の中にもなごやかな表情が見える。地域の連帯感を感じさせる1枚になった。